



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場会社名 中部日本放送株式会社  
 コード番号 9402 URL <http://hicbc.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 杉浦 正樹  
 (氏名) 鈴木 健

TEL 052-259-1322

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,544	0.1	592	15.3	735	14.3	503	44.0
26年3月期第1四半期	8,532	△0.6	513	△29.6	643	△23.9	349	△36.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 799百万円 (41.5%) 26年3月期第1四半期 564百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.08	—
26年3月期第1四半期	13.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	63,104		45,481			70.9
26年3月期	61,608		45,011			71.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 44,720百万円 26年3月期 44,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	8.50	13.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	8.50	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,010	0.0	470	8.5	640	7.4	370	19.7	14.02
通期	32,360	0.0	1,610	△14.8	1,920	△13.5	1,170	△0.9	44.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	26,400,000 株	26年3月期	26,400,000 株
② 期末自己株式数	926 株	26年3月期	926 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26,399,074 株	26年3月期1Q	26,399,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(認定放送持株会社体制への移行について)

当社は平成26年4月1日付で認定放送持株会社へ移行しました。また同日付で、CBCテレビ分割準備株式会社は、当社のグループ経営管理事業及び不動産賃貸事業を除く一切の事業に関する権利義務の一部を吸収分割により承継し、その商号を株式会社CBCテレビに変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 4
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(セグメント情報等) .....	P. 10
4. 参考資料 .....	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
27年3月期 第1四半期	8,544	592	735	503
26年3月期 第1四半期	8,532	513	643	349
増減率(%)	0.1	15.3	14.3	44.0

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられましたが、基調的には緩やかな回復を続けました。企業の設備投資も増加傾向となり、個人消費の面でも、消費税率引き上げの影響を受けつつも底堅く推移しました。テレビの広告市況は、4月に落ち込みを見せたものの、全体としては景気動向に連動する形で堅調に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、85億44百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

利益面では、営業利益は5億92百万円（前年同期比15.3%増）、経常利益は7億35百万円（前年同期比14.3%増）、四半期純利益は5億3百万円（前年同期比44.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

	放送関連		不動産関連		ゴルフ場		その他	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
27年3月期 第1四半期	7,806	353	377	192	156	30	203	16
26年3月期 第1四半期	7,843	334	355	151	140	7	192	20
増減率(%)	△0.5	5.5	6.1	27.0	11.4	317.0	5.8	△17.1

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈放送関連〉

「放送関連」は、テレビタイム収入が増加した一方で、クロスメディア収入や子会社の広告代理業の売上が減少したことから、売上高は78億6百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

利益面では、テレビ関連事業の利益率が改善したことにより、営業利益は3億53百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

〈不動産関連〉

「不動産関連」は、昨年10月に開始した太陽光発電事業が売上の増加に寄与し、売上高は3億77百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

利益面では、前期にあった賃貸駐車場設備の耐震工事が今期は無かったこともあり、営業利益は1億92百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

〈ゴルフ場〉

「ゴルフ場」は、来場者数の増加や名義書換料収入の増加により、売上高は1億56百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は30百万円（前年同期比317.0%増）となりました。

〈その他〉

保険代理業、タクシー業などで構成される「その他」は、売上高は2億3百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は16百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて14億96百万円増加し、631億4百万円となりました。

主な増加要因として、有価証券が37億96百万円、信託受益権を含む流動資産の「その他」が10億22百万円、会社分割に伴い繰延税金資産が13億89百万円、それぞれ増加しております。また主な減少要因として、有価証券や信託受益権の購入、法人税等の支払い及び配当金の支払いなどにより現金及び預金が57億12百万円減少しております。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて10億26百万円増加し、176億22百万円となりました。これは、会社分割に伴い繰延税金負債が14億38百万円増加したことなどによるものです。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4億70百万円増加し、454億81百万円となりました。これは、四半期純利益の計上と配当金の支払いとの差額により利益剰余金が1億80百万円増加したことや、保有株式の時価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が1億91百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期における連結業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が156百万円増加し、利益剰余金が99百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,703	9,991
受取手形及び売掛金	7,018	7,286
有価証券	459	4,255
たな卸資産	54	78
繰延税金資産	382	383
その他	1,043	2,066
貸倒引当金	△6	△13
流動資産合計	24,655	24,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,303	25,310
減価償却累計額	△15,839	△15,978
建物及び構築物(純額)	9,463	9,332
機械装置及び運搬具	21,264	21,255
減価償却累計額	△18,991	△19,120
機械装置及び運搬具(純額)	2,272	2,134
土地	10,502	10,502
建設仮勘定	34	650
その他	1,455	1,477
減価償却累計額	△1,201	△1,213
その他(純額)	254	263
有形固定資産合計	22,527	22,882
無形固定資産		
投資有価証券	13,151	13,538
繰延税金資産	265	1,654
その他	770	783
貸倒引当金	△155	△173
投資その他の資産合計	14,031	15,803
固定資産合計	36,953	39,055
資産合計	61,608	63,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	283	148
未払費用	2,723	1,573
未払法人税等	685	349
引当金	122	437
その他	1,700	2,708
流動負債合計	5,515	5,217
固定負債		
引当金	67	66
退職給付に係る負債	3,669	3,764
資産除去債務	68	68
繰延税金負債	180	1,618
長期預り保証金	6,592	6,407
その他	503	480
固定負債合計	11,081	12,405
負債合計	16,596	17,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	43,609	43,789
自己株式	△0	△0
株主資本合計	45,583	45,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,079	2,271
退職給付に係る調整累計額	△3,417	△3,314
その他の包括利益累計額合計	△1,337	△1,042
少数株主持分	765	761
純資産合計	45,011	45,481
負債純資産合計	61,608	63,104



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,532	8,544
売上原価	4,856	4,753
売上総利益	3,676	3,791
販売費及び一般管理費	3,162	3,198
営業利益	513	592
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	113	134
有価証券売却益	7	—
その他	25	20
営業外収益合計	150	162
営業外費用		
支払利息	19	17
固定資産除却損	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	20	19
経常利益	643	735
特別利益		
会員権売却益	—	3
固定資産売却益	12	—
特別利益合計	12	3
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
会員権売却損	—	0
事業構造再編費用	17	0
特別損失合計	19	1
税金等調整前四半期純利益	636	737
法人税等	283	232
少数株主損益調整前四半期純利益	352	505
少数株主利益	2	1
四半期純利益	349	503

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	352	505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	191
退職給付に係る調整額	—	102
その他の包括利益合計	212	294
四半期包括利益	564	799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	798
少数株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	ゴルフ 場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,843	355	140	8,340	192	8,532	—	8,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	45	0	68	175	244	△244	—
計	7,866	401	141	8,408	368	8,777	△244	8,532
セグメント利益	334	151	7	493	20	513	0	513

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益513百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益513百万円と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	ゴルフ 場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,806	377	156	8,341	203	8,544	—	8,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	68	25	1	95	191	287	△287	—
計	7,875	403	157	8,437	394	8,831	△287	8,544
セグメント利益	353	192	30	575	16	592	0	592

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益592百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益592百万円と調整を行っています。

4. 参考資料

(株)CBCテレビ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 (平成26年3月期 第1四半期)	当第1四半期 (平成27年3月期 第1四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
<b>テレビ関連収入</b>	<b>7,010</b>	<b>6,991</b>	<b>△18</b>	<b>△0.3</b>
テレビ収入	5,891	5,934	43	0.7
タイム収入	1,973	2,039	66	3.4
スポット収入	3,828	3,814	△13	△0.4
その他収入	90	80	△9	△10.4
クロスメディア収入	336	283	△52	△15.8
イベント収入	391	425	33	8.5
ハウジング収入	217	210	△6	△3.2
グループ請負収入	173	137	△35	△20.6
<b>合計</b>	<b>7,010</b>	<b>6,991</b>	<b>△18</b>	<b>△0.3</b>

(注) 平成26年4月1日付で、(株)CBCテレビはグループ経営管理事業及び不動産賃貸事業を除く一切の事業に関する権利義務の一部を吸収分割により中部日本放送(株)より承継しております。なお、上記の表の前第1四半期の数値は、中部日本放送(株)のテレビ関連収入の数値を記載しております。

(株)CBCラジオ 売上高の内訳

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 (平成26年3月期 第1四半期)	当第1四半期 (平成27年3月期 第1四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
<b>ラジオ事業収入</b>	<b>598</b>	<b>591</b>	<b>△6</b>	<b>△1.1</b>
タイム収入	330	324	△6	△1.9
スポット収入	259	255	△4	△1.6
その他収入	7	11	4	52.5
<b>受託派遣事業収入</b>	<b>85</b>	<b>84</b>	<b>△0</b>	<b>△1.1</b>
<b>合計</b>	<b>676</b>	<b>683</b>	<b>△7</b>	<b>△1.1</b>